

令和6年2月7日（水）
思いやりセンター2階会議室
10時00分～12時00分

【開会】

1. 委員長あいさつ

2. 議事

議題（1）LINEは見た目が9割？

【事務局】

来年度公式LINEを拡充させる予定。半田市や西尾市、津島市のような使い方をイメージしていただければ。

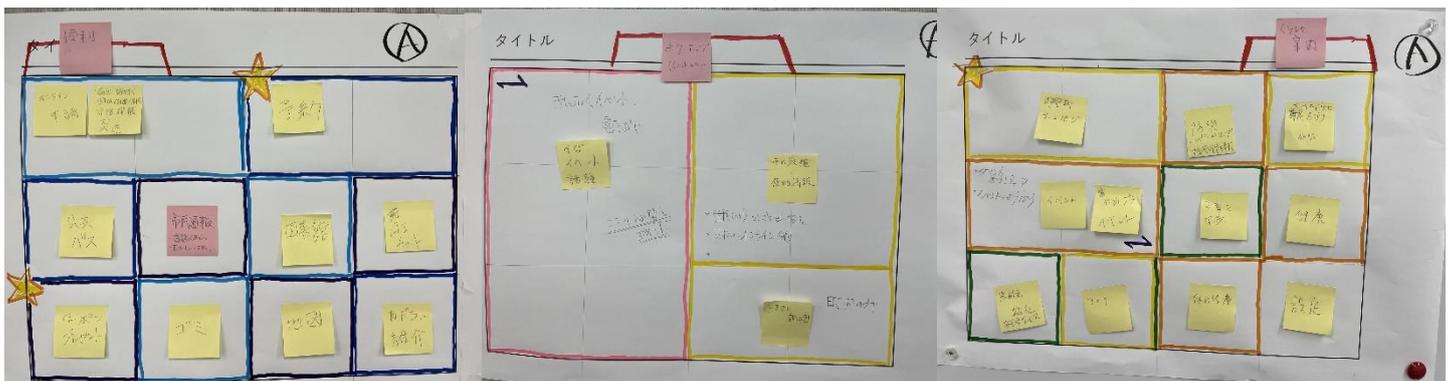
公式LINEのトップ画面（リッチメニュー）について、見やすさや分かりやすさ等、利用者側の視点からアイデアを考えて頂きたい。

Aグループ

2つのタブのどちらからでも、先に進めるような作りの部分があるとよい。迷わずに済む。

武豊町が実施している便利な施策をお知らせするようなことができればよい

その他通報機能やイベント情報の発信

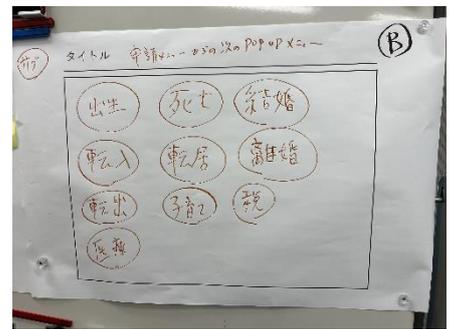
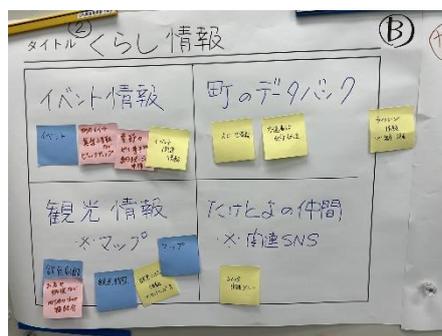


B グループ

タブを2つにした

基本メニューは町民向け、暮らしの情報は町外の方に見てもらいたい情報を入れている。申請のマスから、サブメニューに一回移動して、それぞれの項目に移動する考えもあると思われる。

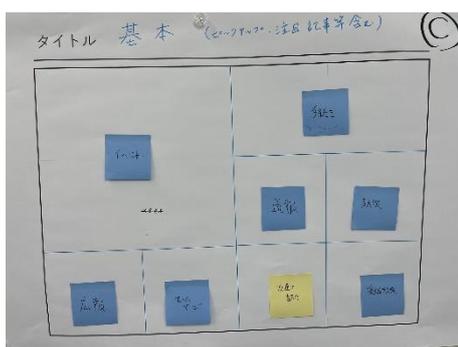
基本メニューの部のマスを全て使って運用を始めて、どの項目が多く使われているのか、等のデータとりが大事になってくる。



C グループ

基本、暮らしに加え、子育てのニーズが高いと思われるので、子育てに特化したタブを設定。妊娠や出産は入口になるので、マスを大きめにした。子どもの年齢などを入れていけると、必要な情報が得やすくできると思う。ファミリーイベント情報や、子育てに関する悩みが相談できるとよい。

おいしいお店の情報があると、人の目につきやすいし、情報が欲しい人もいると思う。さらにマスを使って広告料をとるようにすれば、運営費用の一部に充てられるのではないかと。



議題（２）関係人口について

【事務局】

一時的な観光客でもなく、定住者でもない、地域に様々な形で関わる「関係人口」という考え方がある。

地域の担い手として既に欠かせない役割になっている人たちもあり、普段は意識していないが、関係人口に属する人は身近にいる。

コミュニティの維持や町の人口増加にとって、関係人口の創出は重要になってくる。委員の皆さんが、業務や日常生活、地域での活動などをする中で、人とのかかわりや活動等の運営などにおいて、直面している課題や感じていること、取り組んでいることなどについて話をしていただきたい。

委員)

中央公園を中心に、モルックやプロギングなどの活動を行っている。町内や町外から遊びに来た人たちと、ゆるくつながることで、活気が出たり、まちの雰囲気の良い感じになっていくと思う。雰囲気が良くなると関係人口も増えていくのではと思う。

委員)

商工会に携わっているが、事業所が自主廃業することによる事業所の減少が起こっている。そのような中で、商工会の青年部や女性部、商工会の職員などで状況の打開に向けてそれぞれの立場で行動している。また、知り合った事業者と一緒にイベントを行ったりしている。武豊町を知ってもらって来てもらうこと、町内と町外両方で考えることが大事。

委員)

社会保険労務士として、高齢者雇用の仕事に携わっているが、人材の確保は大きな課題と感じている。魅力のある会社は、高齢者や若者問わず魅力的のある会社だが、魅力のない会社は、どの層にとっても魅力のない会社であるケースが多いと感じる。

高齢者雇用の視点で仕事に携わっているが、業務の評価や職場環境といった点は、高齢者だけでなく若い世代にも通じる部分が多い。

また、若い世代がいると思ったら多くが技能実習生だったケースもある。また、人材を確保できている会社には、事業所近辺だけでなく、日本全国から人材を採用しているケースもあるため、遠くを見ることも大事。

委員)

地区でお祭りに45年ほど携わっている。お祭りに関わる子供が減る中で、中学生が受験等でお祭りから離れていくことに、悩みを抱えている。子どもたちの育成が重要で、子どもがいると思われる住宅を1件1件訪問して紹介したり、子供会と協力してイベントをやったりしている。その結果、ここ数年でお祭りを実施する子供が3人増えた。デジタル技術があふれる時代においても、アナログで地道にやっていくことが効果的なこともある。

まずは動くことが大事だと思う。

委員)

連合愛知では、組合員の生活環境を向上する中で企業だけでは解決が難しいことを要望書にまとめ、議員を通じて各市町に要望する活動も行っている。

しかしながら、この活動は動きに時間がかかるため、レスポンスがどうしても遅くなる。その中で、LINEの通報システムのようなものは、レスポンスも早く、組合員含めた町民の方の生活環境の向上という点で良いと思う。またレスポンスの早い町は、それだけ町民との関係性も近いということと思うので、良い町だという印象を与えられるのではないか。

委員)

武豊町は住みやすい町ランキングで2位だった、といった話を聞くが、実際どういった点でそうなのかわからない。普段生活している中では全く分からない。委員の皆さんのほうから色々な意見があるのを見て、そのような考えもあるのかと思う部分もあった。昔から武豊町に住んでいて、当たり前と感じている部分だとしても、外から見ると当たり前ではないこともあるだろう。そのギャップをうまく擦り合わせていくことが大事だと思う。

委員)

力を入れすぎていたり、義務感にとらわれていたりするケースが多いと感じる。先ほどでいた「ゆるいつながり」や、無理せずにやっていける取組が、本当は必要なのではないか。色々な事の要求が高い等の理由からメンタルに不調をきたすも多い。まず動いてみて、それから考えるといったことを、肩ひじ張らずにやることも大事なのではないか。

今後人口は減っていく前提の中で、減っても社会が回る仕組みを作る必要があるが、「これくらいいい」「少し力を抜いて」という考えを取り入れていく必要もあると思う。

委員)

職場で代理店の採用に携わっているが、職場と自宅の距離が遠いケースがみられる。人生のうちで、通勤時間に多くの時間を割くのは非常にもったいない。通勤時間が短くなれば、他のことに目を向ける時間が増える。時間を有効に使えば、新たなつながりが生まれたり、少し力を抜いて考えるといったことができるようになるかもしれない。

委員)

人を集めようと力を入れすぎると、逆に人が逃げていくのではないか。人を集める、ではなく、人が集まる場を提供するという考え方でいいのではないか。ストリートミュージックやストリートピアノなど、弾きたい人が自由に弾いて、聴きたい人が自由に聴く、といったイメージ。

また、スポーツクラブや習い事などでも町外から参加する人は多いと思うので、クラブや習い事等ができる場を作ることが大事だと思う。

委員)

ゆるいつながりを中心にしたいと思う。また、その場やお店などでも同じだが、そこにいる人、活動している人に魅力を感じて行く、参加するケースが多いのではないかと思う。魅力的な人たちが発信する内容を見て、更に人が集まる、といった流れの中で、自分も魅力的な人でありたいと思う。

委員長)

人との接点は SNS だけではなく、リアルの中で増えてくるのが大事だと思う。また、その場に「誰がいるか」は重要な要素になってくる。場があって、無理をせず繋がっていくという考え方が、大事かなと思う。集めようとする、人の奪い合いにあるので、いる人が、どう繋がっていくのかで、そのまちの良さは変わっていくと思う。

以 上